

日本人294人目の

Six Star Finisher SSSF

木下安司 (高22回)

60歳からランニングを始め、11年が経過しました。大
学で合気道部に所属、稽古の合間に走つてはいましたが、
マラソンはブーム前。

社会人3年目、青梅マラソン(30km)の存在を知り、
2年連続で走りました。大会が終わると、走ることをび
たりと止め、35年余りが経過。

マラソンがこんなにブームになるとは、まったくの想
定外でした。

念願の東京マラソンを走る

本格的にランニングを始めて6年、2016年に念願
の東京マラソンを走りました。東京マラソンは2013
年から世界6大メジャーマラソンに加わり、ランナーな
ら一度は走りたいレースの一つです。

東京マラソンは、都庁前スタート時の紙吹雪、途切れ



●きのした やすし

豊丘村出身。埼玉大学卒業後、
(株)セブン・イレブン・ジャパン
を経て起業。コンサル会社(株)
TBC代表取締役として中小企
業診断士の育成、中小企業支援
に従事。トラック競技からウル
トラマラソンまでチャレンジ中。

ることのない沿道の声援、途中のエイド(休憩所)の充
実など、世界に誇れる大会だと思えます。

35km地点の東雲橋で、友人が応援に駆けつけてくれて
いたのですが、娘夫婦・孫たちが隣り合わせで応援して
いるとは…奇跡的な出来事に思わずびつくり、走るのを
止めて思わず欲談に花を咲かせました。

東京マラソンの感動をもう一度体験したいと、2年後
の2018年にチャリテイ枠を利用して、2回目の東京
マラソンにエントリーしました。

2回目は、経験と地の利を生かし、6大メジャーマラ
ソン最速タイムで完走できました。東京駅をバックに皇
居前がゴール、ランナー冥利に尽きます。

海外初マラソンはボストンマラソン

ボストンマラソンは年代別の制限時間が設けられてお



ボストンマラソンのゴールシーン

り、6大メジャーマラソンの中でエントリーが最も厳しいレースです。今走っておかないと走れなくなる」との強迫観念が働き、清水の舞台から飛び下りるつもりで2015年9月にエントリー。ゴール地点でテロ事件があった翌年のレースです。

レース3日前、ボストン入り。ボストン美術館、ボストンフィル、フェンウェイパークのMLB、ボストン茶会事件博物館など、ひたすら観光に明け暮れました。練習を兼ね、マラソン当日まで地下鉄に乗らず、市内を走り回っていました。

レース当日、スタート地点のホプキントンまでバスで

約1時間移動するのですが、参加要領をよく読んでいなかったため、トレーニングウェアを着込み、東京マラソンの完走タオルまで持参してしまい、荷物預けのシステムがなく、スタート地点で没収の羽目に。スマホを没収されるわけにはいかず、持って走ることに。当日は気温が高く、時差ボケもあり、途中走ったり歩いたりでしたが、ラスト1マイルでボストン市街に入り、沿道のあふれんばかりの声援には涙が出そうになりました。

レース翌日、フェンウェイパークで開催された27マイル (Post-Race Party = 選手同士の懇親会) に出席しました。スタートのホプキントンからゴールのボストン市内まで8枚のパネルが展示されており、その前でポーズを取って記念撮影もできました。グラウンド内に入ることはできませんでしたが、各種仕掛けはさすがに120回を超える伝統の大会です。

NYシティマラソンは別格

翌年のNYシティマラソンは、スタート地点のスタツテンアイランドまでバスで移動。3時間以上仲間とマラソン談義をしながら、スタート時刻の9時50分を迎えました。スタートの号砲は、ピストルではなく大砲(もちろん空砲ですが)。ウェイブスタート(参加者を複数の

グループに分け、時間差でスタートさせる方法)が採用されているとはいえ、第1ウエイブだけでも1万5千人以上が一斉にスタート。スタートしてすぐ、ベラザーノナロウズ橋の上で強烈な向かい風と雨の洗礼を受けました。前途多難を思わせましたが、雨は市街地に入ると小降りになり、風も余り感じなくなりました。

市街地では生バンドの大音響が鳴り響いてきます。最初は「うるさいなあ」と鬱陶しく感じていましたが、慣れてくると声援を励みに、パワーをもらえます。

NYの道路はツギハギだらけで、気をつけないと躓くことがあります。3か所の橋の上を除き、沿道の声援は途切れることなく、疲れたから休む・歩くなどの気持ちを押拭してくれます。NYシティマラソンは別格の意味がよく分かりました。

ゴールはセントラルパーク内です。マンハッタンの目抜き通りを越え、両サイドの仮設スタンドからの大声援を受け、気分良くゴール。前年のポストンマラソンで4時間を切ることができなかつたので、サブ4(4時間切り)を達成できてひと安心しました。

レース翌日、マラソンパピリオンで完走メダルに名前とタイムを刻印してもらいました。世界に一つだけのメダルの完成です。

故障を抱えてのベルリンマラソン

2018年は2月の東京を皮切りに、ベルリン、シカゴを走りました。ベルリンマラソンは、ブランデンブルグ門をスタートし、市内の名所を巡回してブランデンブルグ門に戻ってくる周回コースです。コースはフラットで、記録の出やすい大会です。キプチョゲが世界新記録を出したことは、レース後に知りました。

レース前日、大会主催のBreakfast-Runに参加しました。シャルロットテンブルグ宮殿からオリンピックスタジアムまでの約6kmを走るファンランイベントです。本番のコースとは異なりますが、世界各国のランナーと知り合える楽しいイベントです。

レース1週間前のインターバル走で、右足の付け根に痛みを感じ、不安を抱えてのレースになりました。不安は的中。スタートしてすぐ右足に鈍痛が走り、思うようにスピードを上げられません。わざわざドイツまで来てリタイアはしたくないし、6大メジャー制覇の夢が消えるのは何としても避けたいとの思いで走っていました。

ゴール1km手前から、ブランデンブルグ門が視界に飛び込んできます。それまでの痛みや疲れを忘れ、夢中でゴールに飛び込みました。

風の街シカゴを走る

故障を抱えてのベルリンマラソンから1か月経たない10月、単身でシカゴに乗り込みました。

スタート地点から電車で30分ほどのホテルを予約し、レース前日のエキスポ会場でのゼッケン受け取りなど、準備を十分重ねたつもりが、レース当日早朝暗かったこともあり、駅と違う方向に歩いてしまい、スタート時間に遅れるという大失態。

アップもそこそこにスタート。シカゴは風が強いことで有名ですが、レース当日はそれほど風を感じることはありませんでした。ベルリンマラソンの時感じた股関節周りの痛みは緩和されていたため、サブ4狙いで走ったのですが、僅かに届かずでした。

ゴール後、同じランニングクラブ所属の友人と、市内のステーク



シカゴマラソンのゴール後

ハウスで乾杯。

大迫選手が日本新記録を出したことは、ネットニュースで知りました。

レース翌日、マーケティングの大家コトラ教授で有名なノースウェスタン大学ケロッグ校を訪問したのも良い思い出になりました。

2年半待たされた最終戦、ロンドンマラソン

コロナ禍で2年半待たされ、ようやく念願のSSFメダルをゲットしました。SSFとは、世界6大メジャーマラソン（ABBOTTワールドマラソンメジャーズ）を完走したランナーに贈られる称号のことです。

ロンドンマラソンは、6大メジャーマラソンの中でエントリーが最も難しい大会です。抽選に当たる確率はゼロに近く、チャリティ金額は目が飛び出るくらい高く、仕方なくツアー枠で参加しました。

ロンドンに到着した翌日、マラソン・エキシビジョンに行き、ゼッケン受領、ABBOTT（SSFのタイトルスポンサー、アメリカの製薬会社）ブースで6大メジャーマラソン最終戦の「小さなステッカー」をもらいました。このステッカーを背につけて走ったのですが、ステッカーに気づき声をかけてくれるランナーが結構い

ました。

レース当日は、朝から雨予報。スタート地点のグリニッジ天文台近くの広場は、ゴルフ場跡地で、全面芝生。スタート地点が3か所に分かれているといっても、テントもなく、雨が降ったら芝生がグチャグチャになるのではと心配していましたが、レース当日は予報が外れほっとしました。

4万2千人が3か所に分かれ、ウェイブスタートが採用されましたが、道路幅の割にランナーが多く、20km過ぎまでずっとバック状態で走っていました。



日本人 294 個目のSSFメダル

市民の99%はノーマスク、コロナはどこに行ってもまったのかという感じです。声援の大きさは、NYシティマラソンに引けを取りません。30kmを過ぎて、歩きたいと思っても、沿道の声援がそれを許してくれません(笑)。40km過ぎのウエストミンスター寺院からの直線は、沿道に人があふれ、声援も最高潮に達し、気分良くゴールに向かいました。バックingham宮殿のゴールゲートを見ると、完走メダルとABBOTTブースでSSFメダルを授与され、記念撮影。

2016年のポストンから始まった6大メジャーマラソンの最終戦。目標のサブ4には届きませんでした。6大メジャーマラソンを無事完走できほっとした瞬間です。

6大メジャーマラソンへの挑戦は終わりましたが、生涯現役を指し、走り続けます。

〈6大メジャーの戦績〉

No	大会	日付	タイム	年齢
1	ボストン	2016年4月18日	4:36:53	64
2	NYシティ	2017年11月5日	3:47:28	65
3	東京	2016年2月28日 2018年2月25日	3:56:58 3:35:26	64 66
4	ベルリン	2018年9月16日	4:38:57	66
5	シカゴ	2018年10月7日	4:01:53	66
6	ロンドン	2022年10月2日	4:25:07	70

(タイム 時間:分:秒)